

地域の皆様へ

岩沼高等学園川崎キャンパス

副校長 関口聡

“届けよう、服のチカラ” プロジェクトへの協力のお願い

日頃より川崎キャンパスの教育活動へのご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、川崎キャンパスでは本年度、ユニクロ・ジーユー(株式会社ファーストリテイリング)が国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と連携して実施している「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」に参加しています。

このプロジェクトは、難民の方々の現状や服の役割について学び、自分たちにできることとして「子ども服の回収」を生徒が主体となって実践するものです。服には「寒い冬を乗り越える」「病気やけがを防ぐ」といった命を守る役割だけでなく、「自分の気持ちを表す」「つながりを示す」といった、人々の暮らしを支える大きなチカラがあります。

つきましては、ご家庭で着られなくなった子ども服がございましたら、ぜひ回収にご協力いただけますと幸いです。集まった服は、世界中の服を必要としている難民の子どもたちへ届けられます。

1. 回収期間 2026 年8月24日(月)～2026 年 11 月中旬

※事務局への発送期限が 11 月下旬のため、校内回収はそれ以前に終了いたします。

2. 回収場所 川崎キャンパス(事務室に直接お持ち込みください。)

3. 回収対象品目

- サイズ：赤ちゃんサイズ(60cm)から 160cm までの子ども服のみ。
- 状態：次に使う方が気持ちよく着られるよう、必ず洗濯を済ませたものをお願いします。
- 備考：ブランド、季節、デザインは問いません(ユニクロ・ジーユー製品以外も可)。

(裏面に続く)

4. 回収できないもの

- 大人用の服
- 下着、靴下、帽子、靴、マフラー、ベルトなどの小物類
- 迷彩・武器・ドクロ・血柄のデザインが入ったもの(難民の子どもたちが辛い経験を思い出す可能性があるため)
- レインコート、甚平、浴衣、白衣など

5. お願い

- お持ちいただく前に、ポケットの中に物が入っていないかのご確認をお願いします。
- 大きな名前が記載されている場合は、可能であれば外していただけると幸いです。
- 一度お預かりした服は返却できませんので、ご了承ください。

本プロジェクトを通じ、子どもたちが SDGs(持続可能な開発目標)の「つくる責任つかう責任」について考えるきっかけにしたいと考えております。皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



1 貧困をなくそう

ひんこん

1.貧困をなくそう



10 人や国の不平等をなくそう

ひと くに ふびょうどう

10.人や国の不平等をなくそう



16 平和と公正をすべての人に

へいわ こうせい

16.平和と公正をすべての人に



12 つくる責任 つかう責任

せきにん せきにん

12.つくる責任・つかう責任



17 パートナシップで目標を達成しよう

もくひょう たっせい

17.パートナーシップで目標を達成しよう

